

室蘭民報

The Muromin Press

2023年(令和5年)

3月29日 水曜日

発行所: 室蘭民報社

〒051-0015 室蘭市本町1丁目3-16

電話0143-22-5121・FAX0143-24-1337

©室蘭民報社 2023

国立難関10大学と国公立大学医学部 室蘭栄高現役合格実績

国立難関10大学		国公立大学医学部	
北海道大	25	旭医大	3
東北大	6	札幌医大	2
東京大	2		
大阪大	2		
計		40	

室蘭栄高校(萩島勝幸校長)は、今春の卒業生233人のうち東京大学や北海道大学などをはじめとする国立難関10大学と国公立大学医学部に計40人が現役合格者した。09年以来、15年ぶりの高水準で進路指導部の担当者は「1年生のときから、力を付けている生徒が多かった。努力が実を結んだ」と生徒たちを褒めたたえている。

室蘭栄高生

現役で40人合格

国立難関大、国公立大医学部

東大に2人、北大には25人

大学入試の合格者の内訳は、国立は北大25人、道教大17人、室蘭工業大学15人、旭川医科大6人(うち医学部3人)、東北大6人、東大2人、大阪大2人など計123人。

公立は札幌医科大4人(うち医学部2人)、釧路大6人、青森県立保健大3人、周南大2人など計38人。国公立大に現役で161人が合格した。過去最多の177人(20年度卒業生)には届かなかったが、2人が東大に、5人が医学部に現役で合格するなど実績を残した。

今年の3年生は入学当初から新型コロナウイルスの影響で臨時休校となり、学校に来れない状況が続いた。スタートは遅れたが、1年生の時から放課後や長期休みの時間を使って講習に出るなど努力を続け「簡

単なものもおろそかにせず、コツコツと力を付けてきた」と進路指導部長の小

泉千賀教諭。

また、国公立大の前期試験で良い結果を残せなくても私立大に行くのではなく、諦めずに中後期でも粘り強く励んでいたという。小泉教諭は「塾に通っている生徒もいたが、多くの生徒が学校に軸足を置いて勉強に励んでいた。生徒と教諭が一丸となって取り組み、いい結果が残せて良かった」と語っている。

(坂本綾子)